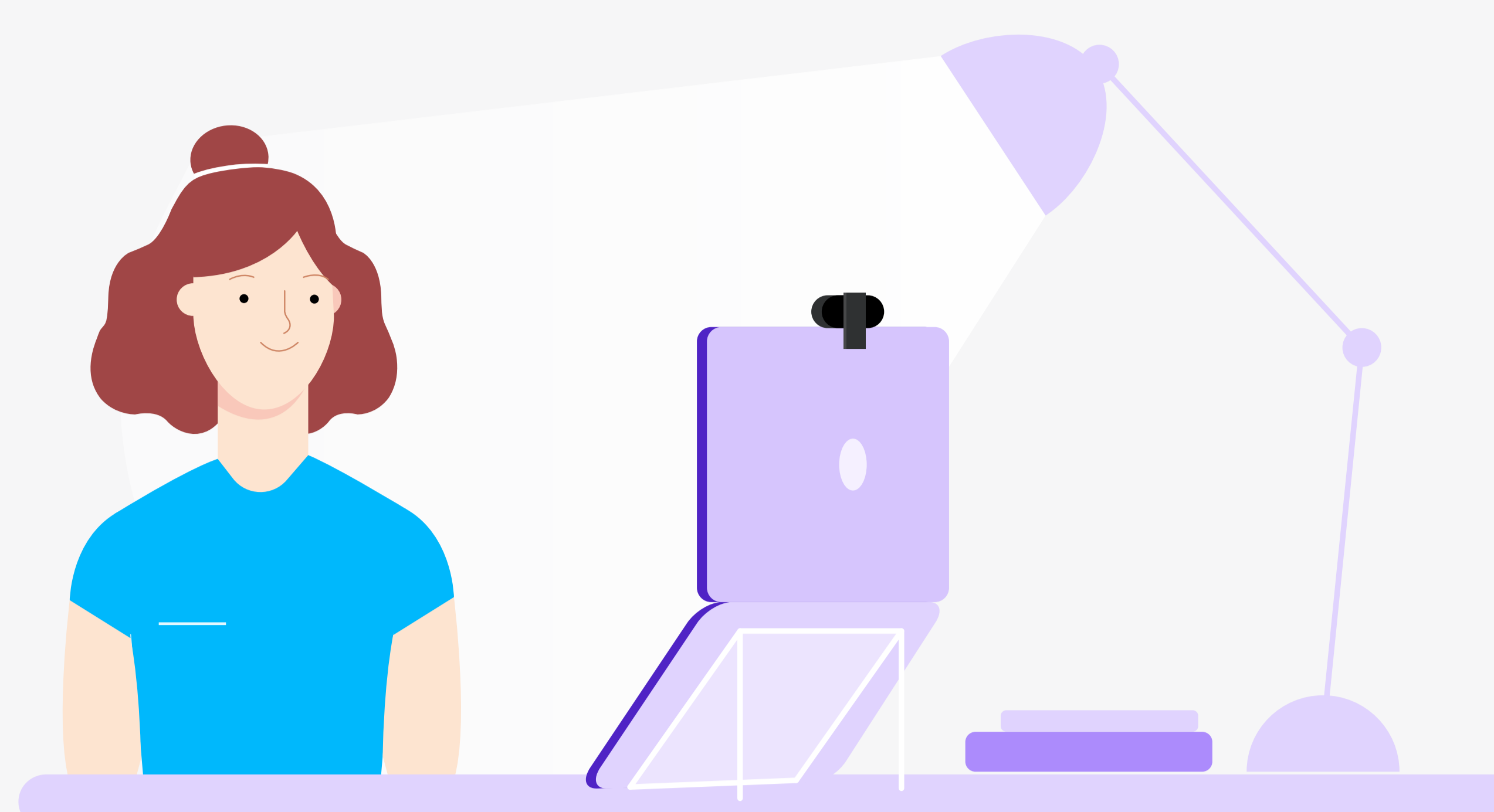


動画で最高に魅力的に映し出す方法トップ10

カメラに映るのが苦手？ビデオは今や、職場でも家庭でも欠かせないものとなっています。レンズの前でくつろいで、自分らしさを発揮すべきときが来ています。その方法をお教えしましょう。

1 メイン被写体である自分が目立つように映す

ライトをあなたの目の前に配置して十分に照明が当たるようにし、注目が集まるようにします。

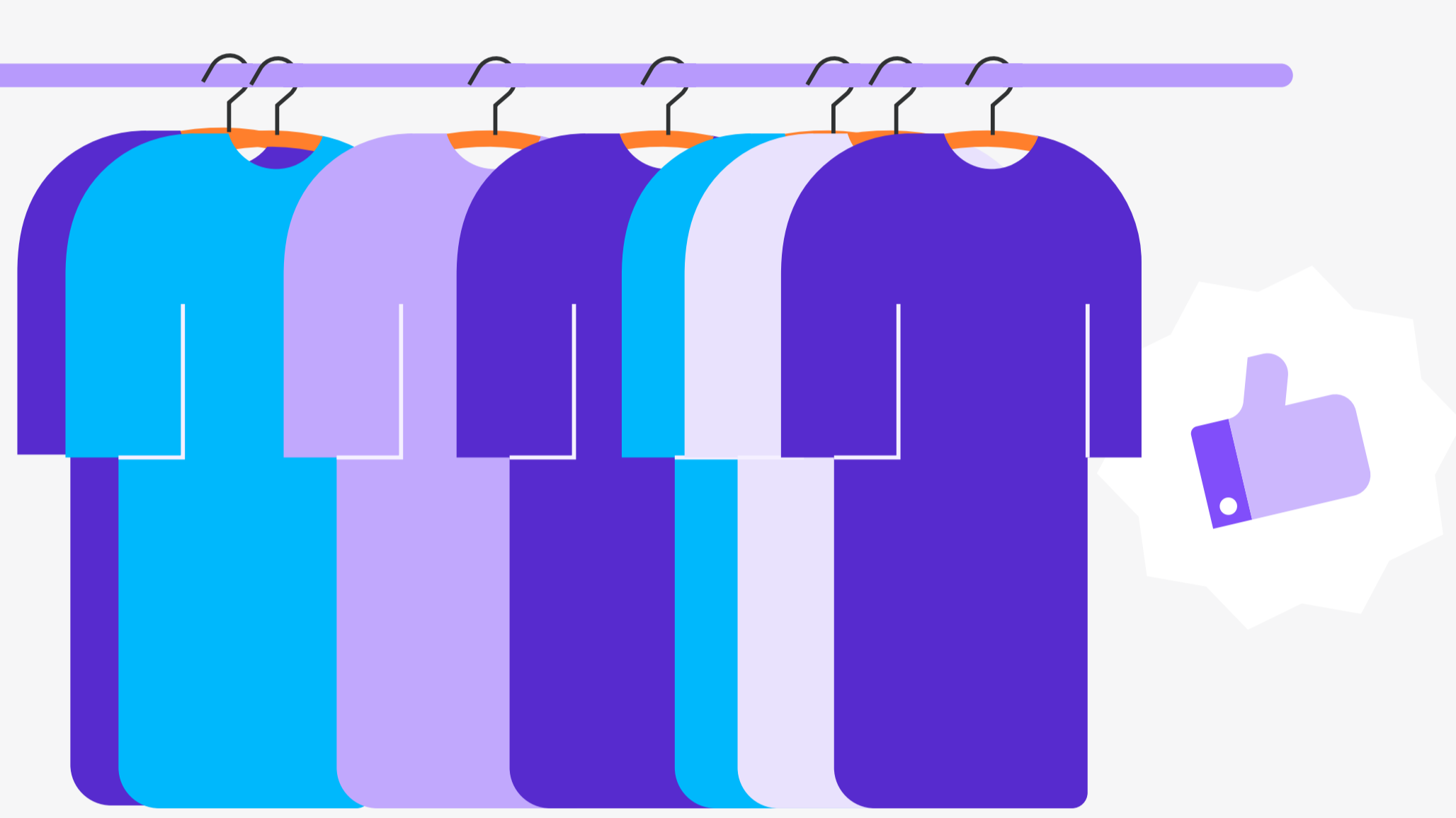


2 背後を明るくしない

背後を明るくすると、ほとんどのカメラは画面全体を暗くするので、被写体が影絵のようになってしまいます。

3 周囲をチェックする

背後が散らかっていたり、周りをごちゃごちゃしたりしていると、注意が散漫になってしまい、プロフェッショナルに見えません。

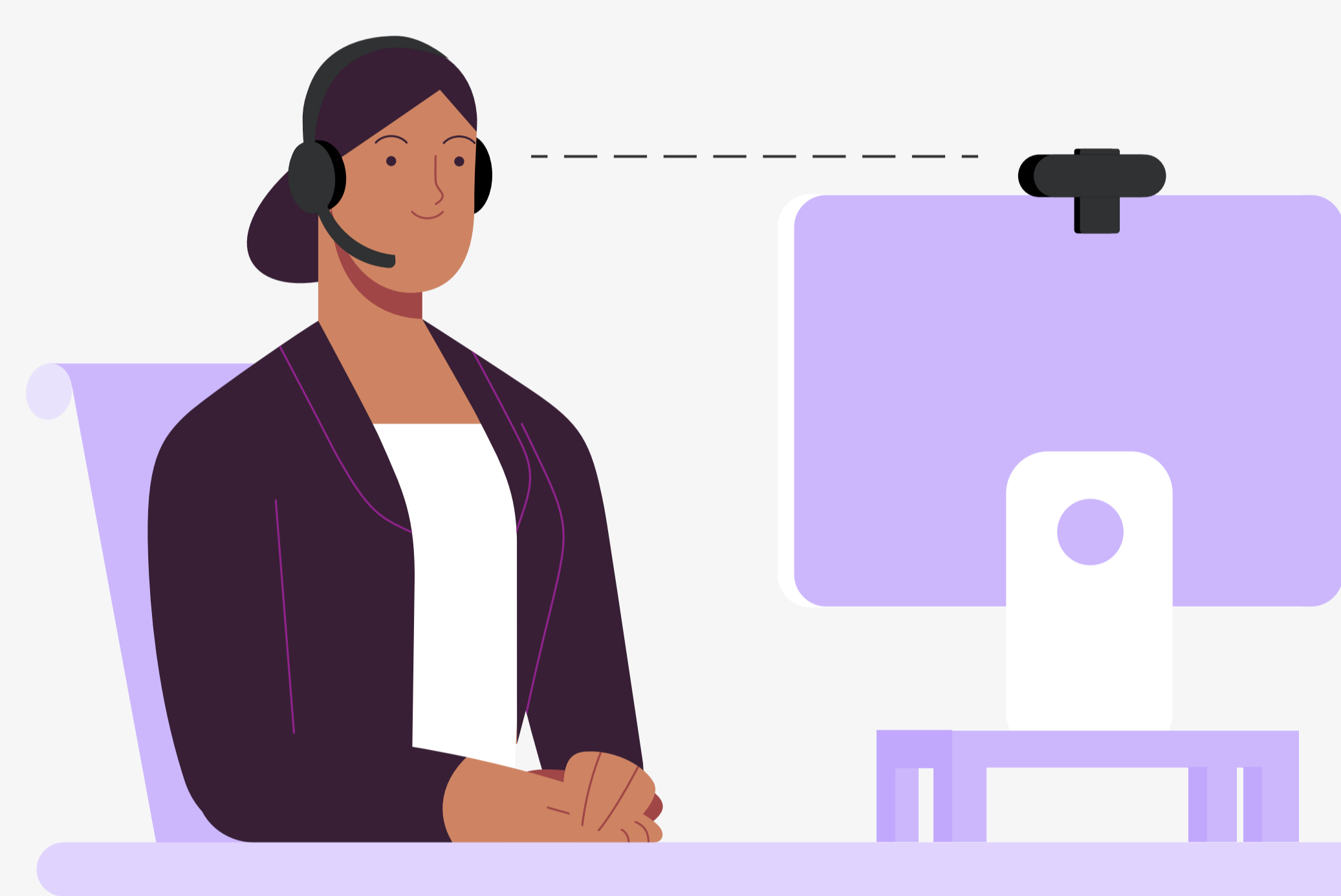


4 シンプルな無地の服を着る

賑やかな柄や模様、特に縞柄の場合は、カメラ上では奇妙な効果をもたらします。無地であれば、視線は被写体と被写体の声に集中できます。

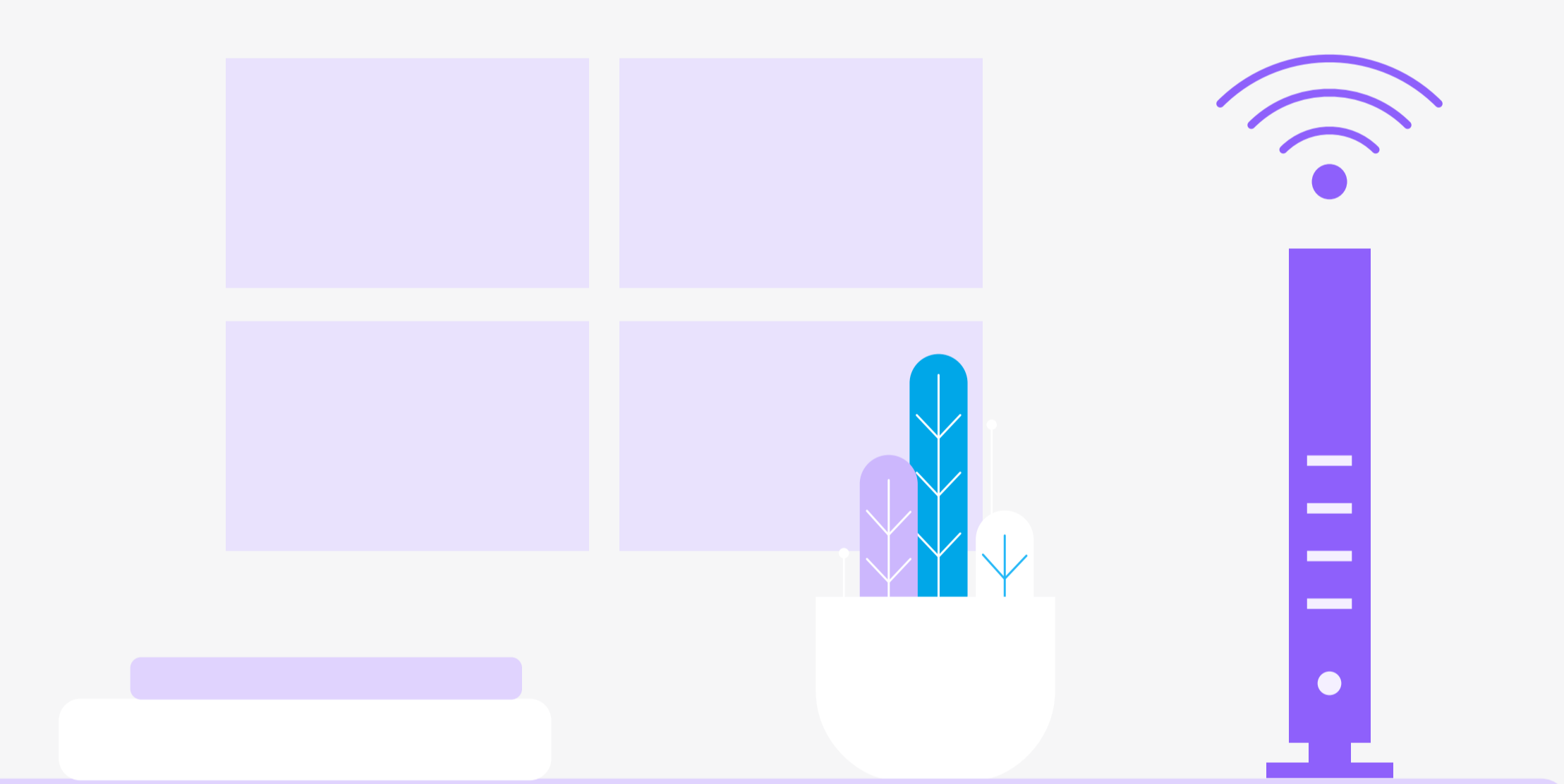
5 カメラは目の高さには配置する

見下したように見える「鼻下からの」ショットより、はるかに感じよく映ります。



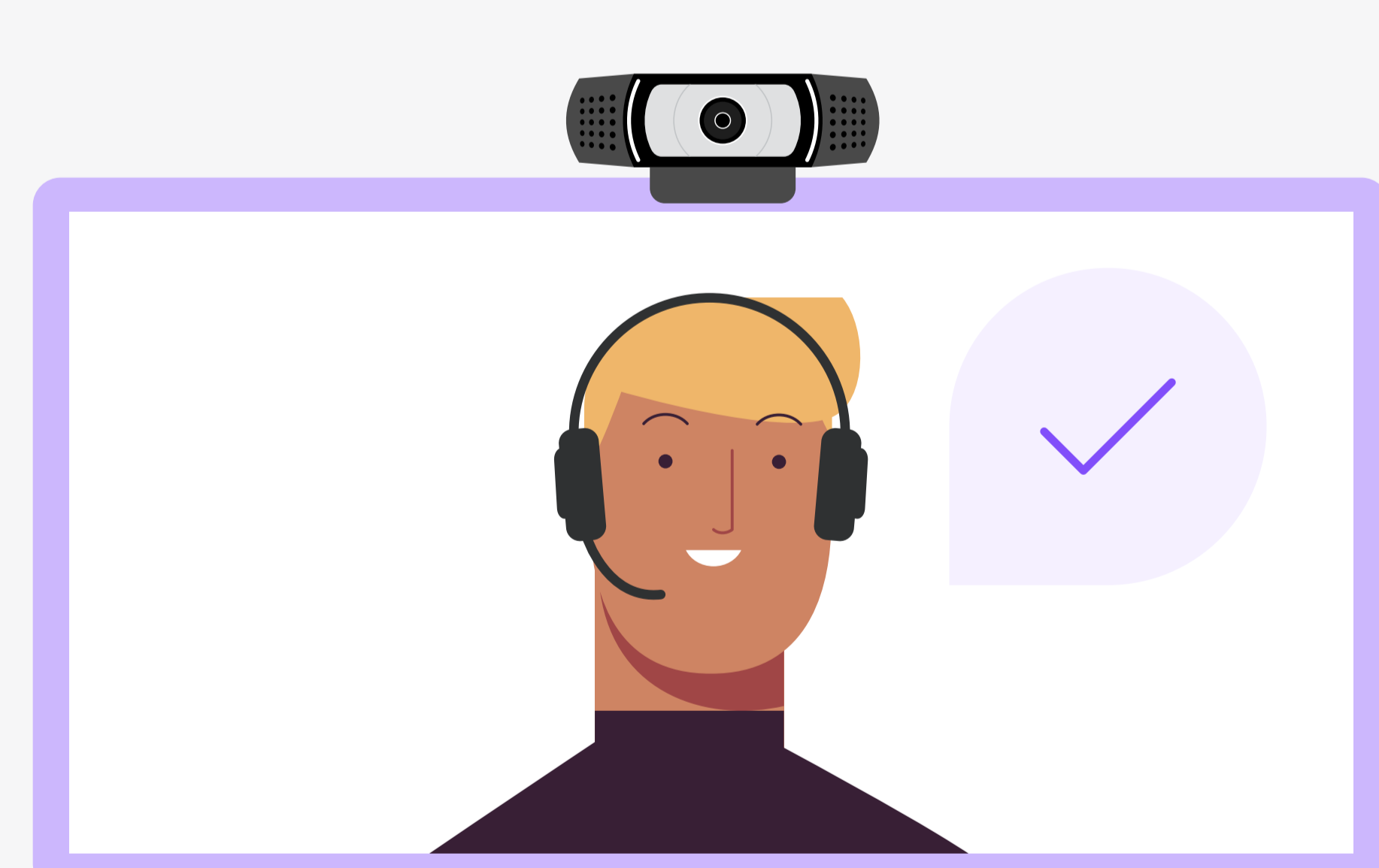
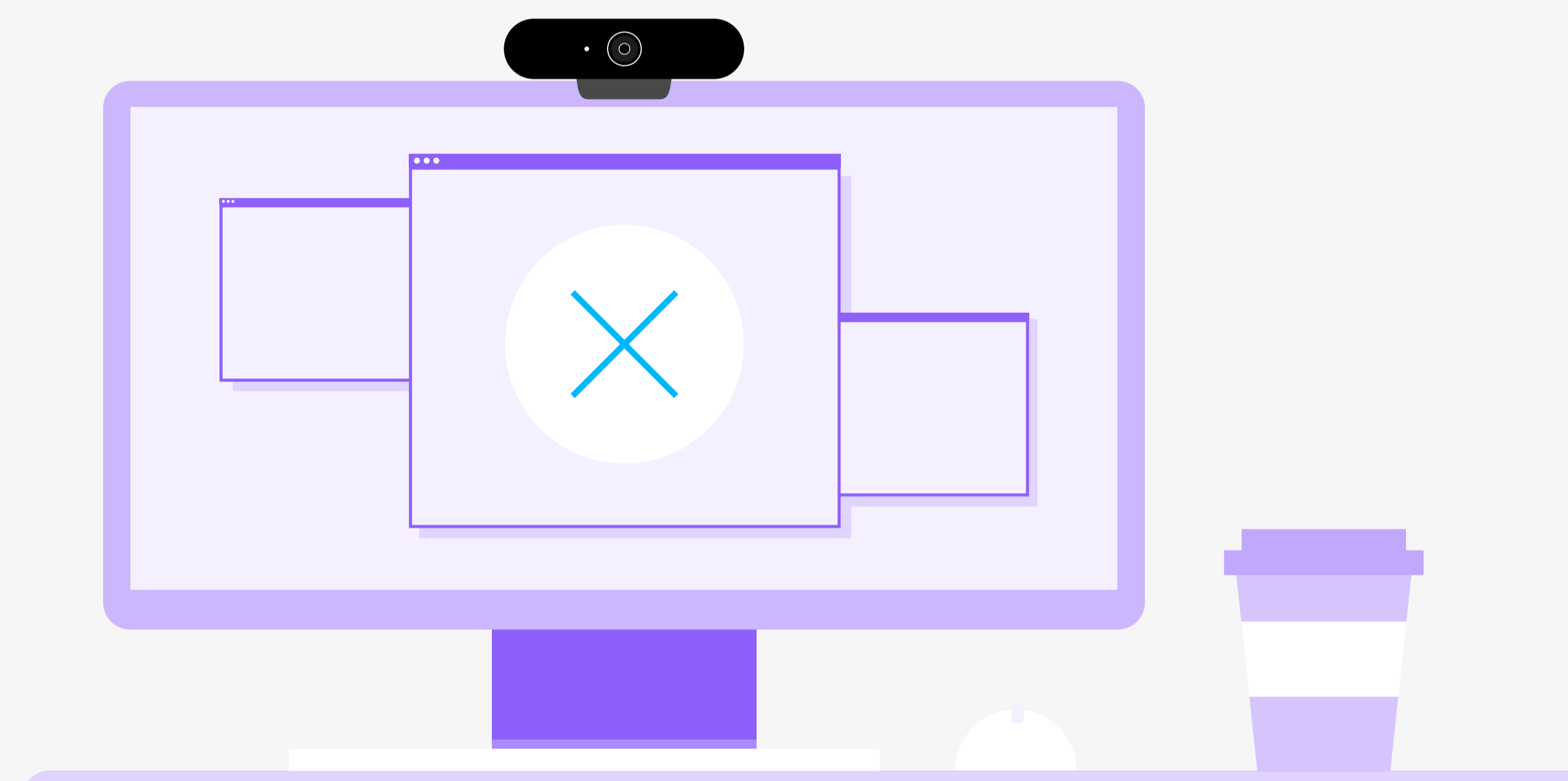
6 強力で安定したインターネット接続を使用する

ストリーミングが遅延して画面上でフリーズすることを避けられます。



7 使わないプログラムは閉じる

他のアプリケーションは、鮮明な画像を表示するために必要となるリソースを消耗し、プライバシーを漏洩させる恐れもあります。

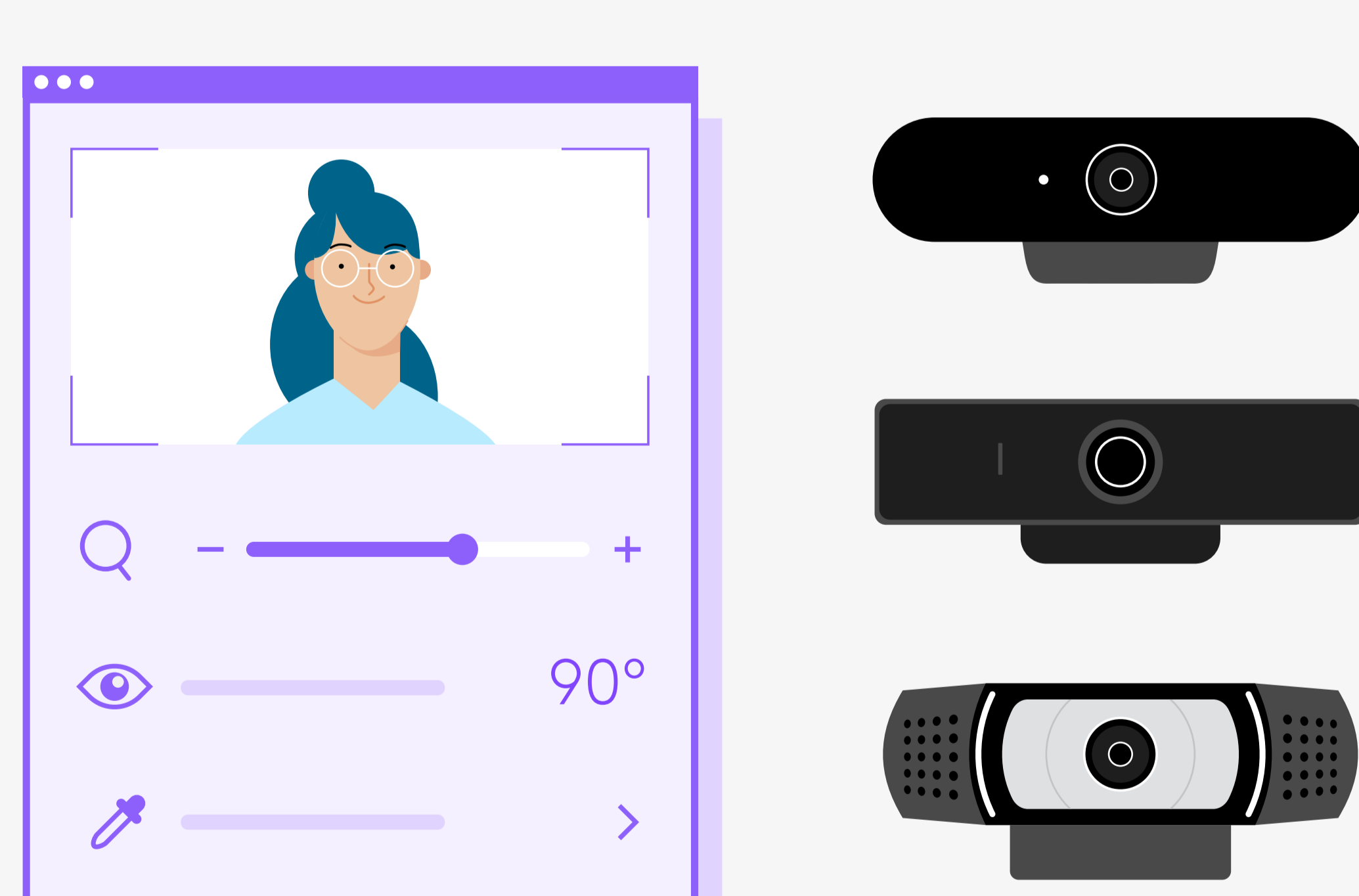


8 音質を確認する

可能であれば、ビデオ会議用のヘッドセットを使用し、音質を画質同様に良好なものにします。

9 テストを実行する

背景と照明が満足のいく状態に達していることを確認し、カメラの焦点が自分に合っていることをダブルチェックします。



10 専用の外付けウェブカメラを使用する

ノートPCでもデスクトップでも、自宅でも職場でも、Logi Tune付きのロジクールウェブカメラを使えば、フレームの制御、フォーカスの調整、カラープリセットの選択が行えます。こうした細かな調整が大きな違いを生み、あなたをベストな状態で映してくれます。

次回のビデオ会議では、ベストな状態で画面に登場しませんか？

[ウェブカメラを探す](#)